





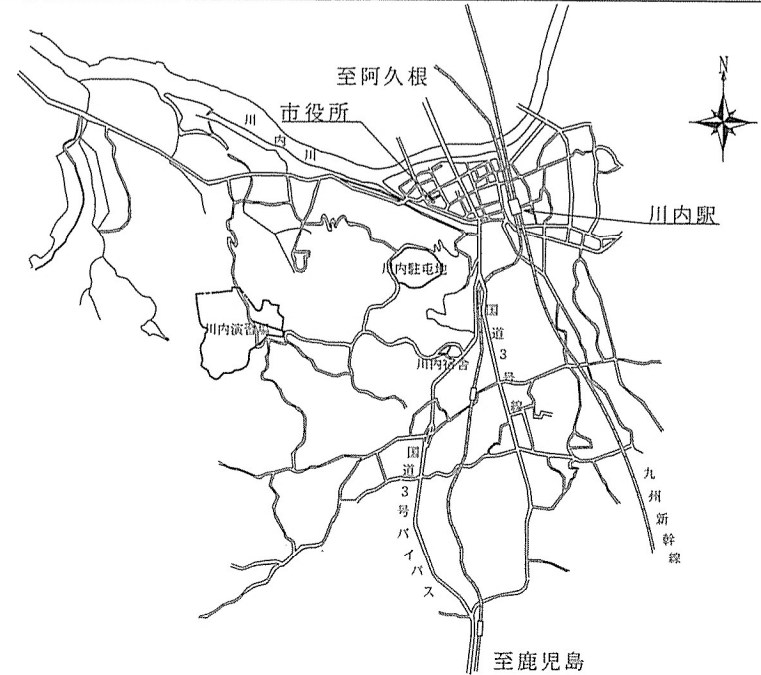


川内演習場爆破訓練場退避壕防爆窓設置

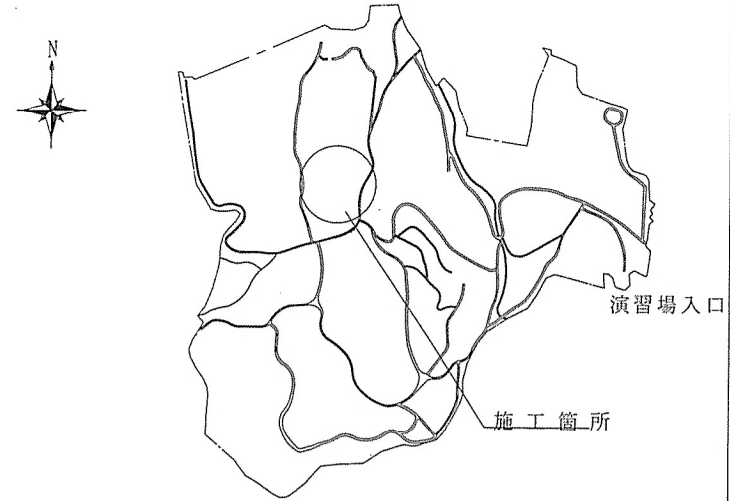
大隊長	副大隊長	第3係主任	第4係主任	施設	測量
					
工事件名	川内演習場爆破訓練場退避壕防爆窓設置				
図名	表紙		縮尺	-	
作成年月日	令和5年1月11日		図面番号	1/3	
第8施設大隊第3係					

仕 様 書

- 1 工事件名 川内演習場爆破訓練場退避壕防爆窓設置
- 2 工事場所 鹿児島県薩摩川内市宮里町 陸上自衛隊川内演習場内
- 3 工事概要
演習場内の爆破訓練場退避壕に防爆窓を設置する。
- 4 一般事項
 - (1) 本件においては、本設計図書によるものとする。
 - (2) 本件に際し疑義を生じた場合は、監督官と協議しその指示に従うものとする。
 - (3) 本件に際し、他の構造物等に損傷を与えないよう十分注意するものとし、万一損傷を与えた場合は、請負者の責任において原形復旧するものとする。
 - (4) 本件に際し、事故・火災防止及び第三者への被害等の安全管理には十分注意するものとし、万一災害等が発生した場合は、請負者の責任において処置するとともに速やかに監督官に報告するものとする。
 - (5) 本件に必要な電気及び水は請負者が負担するものとする。
 - (6) 本件の写真は、施工前、施工中、施工後、主要な工事段階毎に撮影し、写真台帳帳(A4版)に整理の上、監督官に提出するものとする。なお、写真データは工事完了後確実に破棄するものとする。
 - (7) 本件に際し、監督官が指示した書類は速やかに作成し提出する。
 - (8) 本件に使用する材料は全て新品とし、監督官の検査を受け合格後使用するものとする。
 - (9) 作業終了時には、現場の清掃及び片付けを実施するものとする。
- 5 特記事項
 - (1) ボックスカルバートの移動は官側が工事着手までに実施する。
 - (2) 防爆窓はポリカーボネートプレート20mm厚とする。
 - (3) 施工にあたり防水のためボックスカルバート同士をコーキング処理する。
 - (4) 窓部分の加工部は、平滑にする。

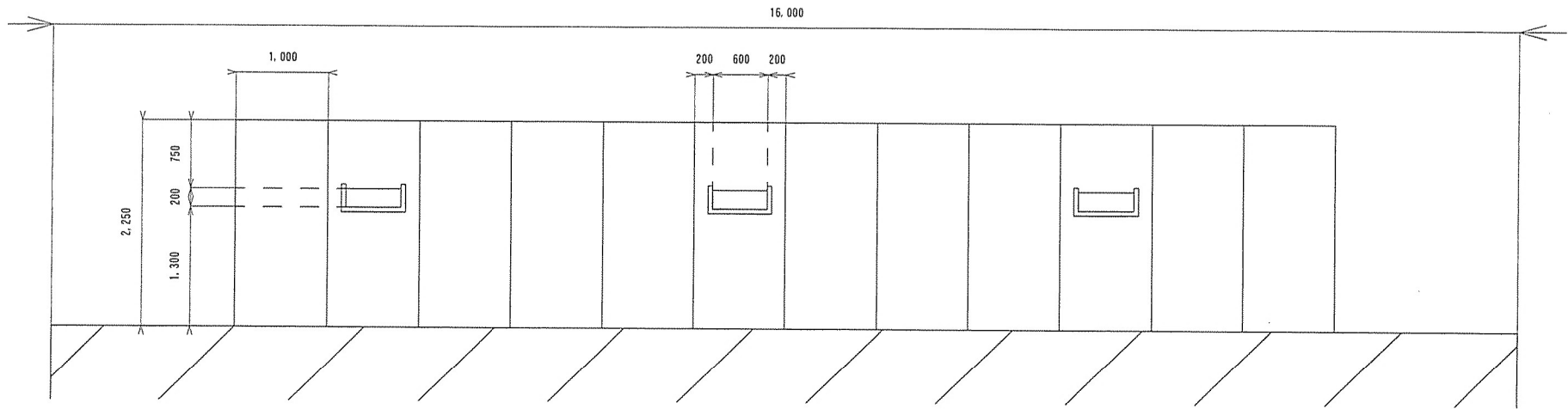


案内図

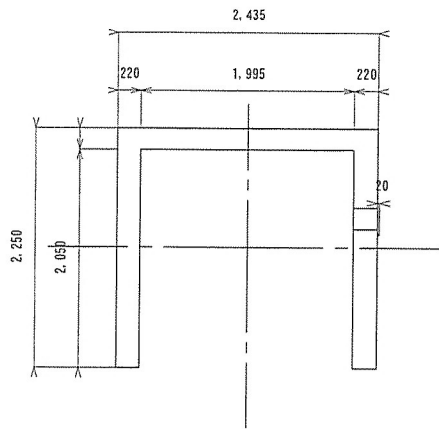


配置図

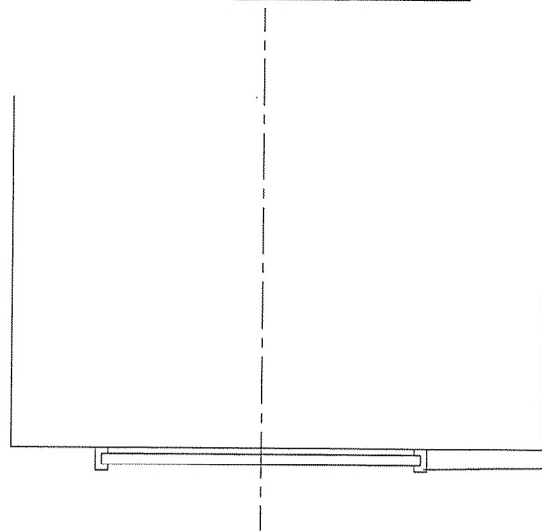
工事件名	川内演習場爆破訓練場退避壕防爆窓設置		
図名	仕様書・案内図・配置図	縮尺	図示
作成年月日	令和5年1月12日	図面番号	2/3
第8施設大隊第3係			



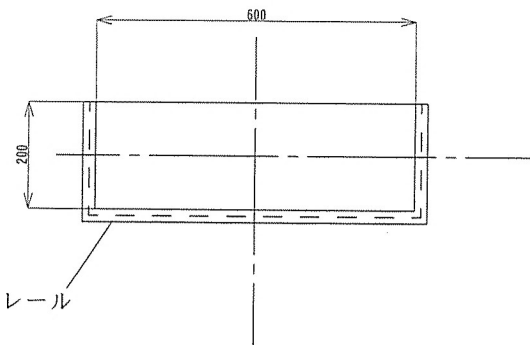
防爆窓設置計画図 S=1/50



ボックスカルバート側面図 S=1/50



防爆窓平面図 S=1/10



防爆窓拡大図 S=1/10

工事件名	川内演習場爆破訓練場退避壕防爆窓設置		
図名	区画線計画図等	縮尺	図示
作成年月日	令和5年1月12日	図面番号	3/3
第 8 施 設 大 隊 第 3 係			